

2014 (平成26)年7月1日 第37号

発行: (福) 十字の園法人事務局
理事長 平井 章

住所: 〒431-1304
静岡県浜松市北区細江町中川 7220-11
tel 053-414-1400
fax 053-420-2100

社会福祉法人 十字の園

ぶどうの木

(ヨハネ福音書 15章)



御殿場十字の園 グループホーム笑みの里 2014年4月1日オープン 日常のスナップ

『私の趣味』

御殿場十字の園 施設長 **宮島克利**
ミヤジマ カツシ

趣味と言われて「これです」といったものは特にはないのですが、今は家族といろいろ一緒に出かけて楽しんでいます。夏のキャンプに冬のスキー、旅行やハイキング、いろいろなレジャー施設へと行きます。子どもの成長に合わせて行くところも変わり、最近はラフティングや、谷をターザンのように超える自然アドベンチャーなども体験し、スリルも味わっています。今年は富士山頂を目指しています。長女は来年中学生になります。一緒に出かけることも少なくなってくるかと思いますが、その時々々に与えられた中で楽しんでいけたらと思います。



地域包括ケアシステムに向けて…今、何を 「舞台の上」で 主役になるか 脇役でいるか

理事長 平井 章

◇「舞台装置」と「舞台の上」

河幹夫氏（神奈川県立保健福祉大学）は、社会保障のサービスの仕組みを「舞台装置」の図を使って解説されました。「舞台の上」で展開される福祉サービスは、「舞台装置」からのさまざまな「仕送り」で支えられるというのです。稲垣久和氏は「公共福祉とキリスト教」の講演で、この「舞台装置」を引用して、これからの「新しい公共」という「舞台の上」に立つのはサービス利用者とサービス提供者だと言っています。

◇これからの社会福祉のあり方

今後の高齢社会に向けて「社会福祉法」が近く改訂されます。地方（市町村）への委譲を柱として、介護保険法、障害者総合支援法も改訂されます。着々と「舞台装置」の仕組みが整えられています。公益法人である「社会福祉法人」への優遇も見直されます。

2014年度の事業計画において「これからの社会福祉のあり方を見据えた十字の園の取り組み」として、「地域包括ケアシステムを基盤とする高齢者・障がい者の生活のあり方、共生社会のあり方、情報をしっかり受け取りつつ、行動すること、まさに『創立の精神から、新たな福祉へ挑戦』の時となっています。」と記しました。

併せて、「理念の継承」「組織と運営体制」「人材育成」「財務基盤の強化」の4項目を掲げて、3年後、10年後を見据えて十字の園の舵取りを意欲を持ってすすめていこうとしています。

◇地域包括ケアシステムの構成要素

厚生労働省においては、団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）になる、2025年（平成37年）を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目指して、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築を推進しています。

地域包括ケアシステムの5つの構成要素である「介護」「医療」「予防」という専門的なサービスと、前提としての「住まい」と「生活支援・福祉サービス」が相互に関係し、連携しながら在宅

の生活を支えていきます。地域が「舞台の上」であり、市町村単位又は中学校区単位の「舞台装置」が作られています。



◇自助・共助・公助・互助とは

「公助」とは税による公の負担、「共助」とは介護保険料などの被保険者の負担であり、「自助」とは「自分のことは自分で」ということです。「自助」の中には、自分の生活を補完する有償サービスの購入も含まれます。そして、「互助」とは、例えば、訪問介護サービスでは受けられないゴミ出し、庭の手入れ、買い物など、制度にない支援の仕組みを作ることです。地域（住民）の、地域（住民）による、地域（住民）のための福祉制度（サービス）を作ります。

◇「舞台の上」に立つために

「特別養護老人ホームの入所基準が『要介護3』以上、『要支援』が市町村事業に」ということが猶予期間後に始まります。「舞台装置」を整えて「舞台の上」の幕が開かれます。

サービス提供者である十字の園は、「舞台の上」の主役に立てるのでしょうか。脇役なのか、一般通行人に甘んじるのか、今、すべきことを「新たな福祉にチャレンジ」していきたいものです。

第29回東海北陸理学療法学会にて 最優秀賞を受賞

受賞したのは理学療法士石井秀明氏（浜松十字の園）、石田武希氏（第2アドナイ館）、岩ヶ谷佳那氏（元細江デイ）。

研究テーマ「地域在住の後期高齢者の身体機能に対する筋力の重要性」で、「高齢者の健康保持戦略は“寿命を延ばす”から“健康寿命をのばす”」という研究です。

「私の歩み・・・」

十字の園理事(聖隷学園 専務理事) 小柳守弘

自分の歩みを振り返るとそこには「暗算と数値分析」があるのかなと思います。小学3年生の時から珠算を始めて中学3年生の時に5段まで取得しました。通っていた塾は非常に厳しく、泣きながらそろばんを弾いていた記憶が強くあります。

その後、計算、数値分析を生かした仕事をするかたわら、なんとか税理士まで取得することができました。得意は法人税法。学校法人、社会福祉法人ではあまり登場しない分野です。

5月は大体の法人、企業が決算報告資料づくりという膨大な仕事にご苦労されていることと思います。とかく決算、予算は数値での表現になりがちですが、実はこの数値に裏付けされた【業績活動内容】こそ大切なものだと認識しています。

この【1年間行ってきた活動業績】を事業計画と照らし合わせて、どのように、みなさんにどう分かりやすくお伝えするか、聖隷学園では現在奮闘中です。今年度は是非この活動業績報告書の内容に、期待してください。ホームページ等で公表いたします。



「御殿場十字の園グループホーム笑みの里」建設工事完了報告

御殿場十字の園 施設長 宮島 克利

昨年4月に御殿場市の選定を受けてから開設の準備をしてきました。9月から本格的に工事が始まり、途中大雪に見舞われたものの、2月末に建物が完成しました。3月12日に、御殿場教会中島善子牧師司式にて竣工式が行われ、4月1日に開所することができました。名称は職員の応募による80以上の候補の中から、微笑みの絶えないホームにしたい、という思いで「笑みの里」に決めました。地域密着型のサービスとして、これから地域に根付き、利用される一人ひとりに微笑みの絶えない支援をしていきたいと思っております。

「笑みの里」の開設にあたり、多くの方々のお祈りに感謝申し上げます。

事業概要 種類：認知症対応型共同生活介護 定員：2ユニット 18名

建物概要 所在地：御殿場市北久原578番3

建築面積：369.03㎡

延床面積：640.43㎡

建物構造：木造 2階建て
枠組壁工法

設計管理 一級建築事務所 山崎創建
(住所：富士市内)

施工業者 株式会社 オサコー建設
(住所：御殿場市内)

総事業費 150,318,625円
(設計管理、備品費等含む)

補助金 40,800,000円(御殿場市)

借入金 70,000,000円

自己資金 39,518,625円



2013(平成25)年度 決算報告

(社会福祉法人 新会計基準)

財産目録

(単位:円)

資産・負債の内訳	金額
I. 資産の部	
1. 流動資産合計	959,161,205
現金預金	463,287,089
事業未収金	482,549,396
未収金	568,100
医薬品	887,090
仕掛品	189,621
原立材料	244,521
前払金	4,677,920
前払金	6,757,468
2. 固定資産	
(1) 基本財産合計	4,049,334,040
土地建物	727,573,266
建物	3,321,760,774
(2) その他の固定資産合計	695,923,262
土地建物	105,735,865
構築物	86,921,380
構築物	68,046,200
構築物	9,602,984
器具及び備品	109,045,622
有形リース資産	7,697,893
権利	3,537,615
ソフトウェア	3,424,099
長期貸付金	2,189,173
退職給付引当資産	46,304,323
長期預り金	103,906,000
工賃変動積立資産	700,000
設備整備積立資産	126,500,000
修繕費積立資産	20,099,000
差入保証金	240,500
長期前払費用	1,950,278
その他の固定資産	22,330
固定資産合計	4,745,257,302
資産合計	5,704,418,507
II. 負債の部	
1. 流動負債合計	335,911,538
事業未払金	56,791,457
1年以内返済予定設備資金借入金	138,762,000
1年以内返済予定リース債務	1,943,844
預り金	5,760,857
職員預り金	4,187,598
賞与引当金	128,465,782
2. 固定負債	
固定負債合計	1,698,419,372
設備資金借入金	1,542,455,000
リース債務	5,754,049
退職給付引当金	46,304,323
長期預り金	103,906,000
負債合計	2,034,330,910
差引純資産	3,670,087,597

貸借対照表

単位:千円

勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	959,161	流動負債	335,912
現金預金	463,287	短期運営資金借入金	0
事業未収金	482,549	事業未払金	56,791
未収金	568	その他の未払金	0
収補助金	0	1年以内返済予定設備資金借入金	138,762
未収	0	1年以内返済予定リース債務	1,944
貯蔵品	887	1年以内支払予定長期未払金	0
診療・療養費等材料	0	預り金	5,761
仕掛品	0	職員預り金	4,188
仕掛材料	190	前受	0
前立	245	前受収益	0
前立	4,678	仮受	0
前払	6,757	賞与引当金	128,466
前払費用	0	その他の流動負債	0
1年以内回収予定長期貸付金	0		
短期貸付金	0	固定負債	1,698,419
短取不能引当金	0	設備資金借入金	1,542,455
	0	リース債務	5,754
	0	退職給付引当金	46,304
	0	長期預り金	103,906
	0	その他の固定負債	0
固定資産	4,745,257	負債の部合計	2,034,331
		純資産の部	
基本財産	4,049,334	基本金	870,123
土地	727,573		
建物	3,321,761	国庫補助金等特別積立金	1,845,550
その他の固定資産	695,923		
土地建物	105,736	その他の積立金	147,299
構築物	86,921	人件費積立金	0
構築物	68,046	施設整備等積立金	126,500
機械及び装置	0	修繕費積立金	20,099
車両運搬具	9,603	備品等購入積立金	0
器具及び備品	109,046	工賃変動積立金	700
建設仮勘定	0	設備等整備積立金	0
有形リース資産	7,698	次期繰越活動増減差額	807,116
権利	3,538	次期繰越活動増減差額	807,116
ソフトウェア	3,424	(うち当期活動増減差額)	△36,773
無形リース資産	0		
長期貸付金	2,189	純資産の部合計	3,670,088
退職給付引当資産	46,304		
長期預り金	103,906	負債及び純資産の部合計	5,704,419
工賃変動積立資産	700		
施設整備等積立資産	126,500		
積立資産	0		
修繕費積立資産	20,099		
人件費積立資産	7,500		
差入保証金	241		
長期前払費用	1,950		
その他の固定資産	22		
資産の部合計	5,704,419		

資金収支計算書

単位:千円

勘定科目	決算額
収入	
介護保険事業収入	2,563,771
老人福祉事業収入	308,613
就労支援事業収入	12,995
障害福祉サービス事業収入	206,493
医療事業収入	22,656
借入金利息補助金収入	1,332
経常経費寄附金収入	8,751
受取利息配当金収入	240
その他の収入	24,725
事業活動収入計(1)	3,149,576
支出	
人件費支出	2,250,929
事業費支出	516,133
事務費支出	238,845
就労支援事業費支出	13,162
利用者負担軽減額	4,659
支払利息支出	15,752
その他の支出	13,208
流動資産評価損等による資金減少額	0
事業活動支出計(2)	3,052,688
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	96,888
収入	
施設整備等補助金収入	62,688
設備資金借入金収入	70,000
固定資産売却収入	563
施設整備等収入計(4)	133,251
支出	
設備資金借入金元金償還支出	134,082
固定資産取得支出	236,062
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,563
その他の施設整備等による支出	252
施設整備等支出計(5)	371,959
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△238,708
収入	
長期貸付金回収収入	2,408
積立資産取崩収入	121,806
その他の活動による収入	1,200
その他の活動収入計(7)	125,415
支出	
長期貸付金支出	550
積立資産支出	15,003
その他の活動による支出	8,537
その他の活動支出計(8)	24,091
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	101,324
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	△40,796
前期末支払資金残高(12)	932,483
当期末支払資金残高(11)+(10)	891,987

事業活動計算書

単位:千円

勘定科目	当年度決算額
収入	
介護保険事業収益	2,564,020
老人福祉事業収益	304,713
就労支援事業収益	12,995
障害福祉サービス事業収益	206,493
医療事業収益	22,656
経常経費寄附金収益	8,751
サービス活動収益計(1)	3,119,628
費用	
人件費	2,256,048
事業費	516,290
事務費	238,845
就労支援事業費用	13,055
利用者負担軽減額	4,659
減価償却費	235,125
国庫補助金等特別積立金取崩額	△111,076
徴収不能額	0
その他の費用	0
サービス活動費用計(2)	3,152,945
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△33,316
収入	
借入金利息補助金収益	1,332
受取利息配当金収益	240
その他のサービス活動外収益	24,725
サービス活動外収益計(4)	26,297
費用	
支払利息	15,752
その他のサービス活動外費用	13,534
サービス活動外費用計(5)	29,287
サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	△2,990
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△36,306
収入	
施設整備等補助金収益	63,683
固定資産受贈額	0
固定資産売却益	563
その他の特別収益	470
特別収益計(8)	64,716
費用	
固定資産売却損・処分損	0
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0
国庫補助金等特別積立金積立額	65,183
その他の特別損失	0
特別費用計(9)	65,183
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△467
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△36,773
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額(12)	737,814
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	701,041
その他の積立金取崩額(15)	106,075
その他の積立金積立額(16)	0
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+14+15-16)	807,116

(注) 予備費支出△20,000円はファイナンス・リース債務の返済支出及び長期前払費用支出に充当使用した額である。

各施設からの事業報告

法人事務局

事務局長 鈴木 新

2013年度は、県西部と東部に地区統括担当理事を配置する体制に変わり、施設長等と意思疎通を図りつつ、事務局職員が各種会議、部会に参画し法人内連携をすすめました。社労士法人と新たに顧問契約を結び、労務・法律および会計事務所に各施設から適時に相談し問題解決に取り組めるようになりました。新給与システムを導入、労務管理の向上と透明性の高い財務管理にも取り組みました。2014年1月末日に事務所を移転しました。

浜松十字の園

施設長 山本 隆弘

2013年度は34名の特養入居者が天に召されました。前年度より10名増え、平均入居期間も3年9ヶ月（前年度は5年5ヶ月）になりました。住み慣れた場所で可能な限り暮らされ、限界に近くなった頃に入居される方が増えてきたように思えます。最期までその人らしく暮らしていただけるための支援を更に充実させるため、共通テキストによるレポート学習を行い、専門性の向上と連携力の強化に努めました。

アドナイ館

施設長 上野 貢一

開設から20年が経ち、管理費を見直し、契約書、重要事項、運営規程の改訂を行いました。1人の入居者のターミナルケアを行い、特に歯科衛生士、歯科医師による口腔ケアの重要性を認識しました。病院管理栄養士を招き、利用者向け講習会「食事で脳の基礎アップ」を行いました。8月からはデイサービス提供時間を「7～9時間」に変更しました。浴室床改修工事等を行い、今年度も、区民公開講座、家族会、ボランティア茶話会を行いました。

第2アドナイ館

施設長 鈴木 淳司

2013年度の第2アドナイ館の歩みは、新しいトレーニング型デイサービスの立ち上げに向けて歩んできました。当初11月の開設予定でしたが、それよりも追加での浄化槽工事等があり、大きく遅れて、開設が2月となりました。しかし、様々な方々のご協力とご尽力の下、開設する事ができ、感謝申し上げます。これからも、皆様に愛され、お役に立てるよう職員一同励んでまいります。

御殿場十字の園

施設長 宮島 克利

2013年度の新たな取り組みとしてグループホームの開設準備を行い、また、在宅介護者教室（絆の会）を発足し、教室を4回開催しました。全国老施協主催の介護力向上講習会の参加は2年目となり、トイレでの排泄を目指すと共に常食化に向け、ケアの知識や理論を学び合い全体で取り組みました。冬期はノロウイルス感染症の蔓延や記録的な大雪に見舞われたこともあって、感染症防止を含みリスクマネジメントマニュアルを全面改正しました。

伊豆高原十字の園

施設長 森 茂廣

「施設を健全に継続的に運営できるように！」
①主体性を発揮しやすい組織作りの為、サーバントリーダーシップの普及浸透を図った。
②ケア刷新の為、施設見学、ユニットケアフォーラムを実施し、フロア制を検討した。
③家族、ボランティアの協力で、ケアの共有、施設の地域化を推進し、QOL向上を図った。
④ボランティアと協働して、認知症ケアの新しい文化を地域浸透させる活動を開始した。
⑤石巻市「あがらいん」に3名のスタッフを各1週間ずつ派遣した。

松崎十字の園

施設長 三條 洋二

2013年度は、特養で9名、障害者支援で2名の利用者が職員、家族に看取られて天に召されました。年間目標として思い出作りを目標にあげ、外出支援、施設内での行事を充実させました。就労支援では、利用者1名を一般事業所に採用させる事が出来ました。必要に応じて、職員が利用者との関わりを深めてくれた事に感謝であります。

教会の礼拝担当者派遣やボランティアに感謝いたします。

伊東市立養護老人ホーム 平和の杜

施設長 鈴木 啓之

入居者の介護認定者が増加、設備も整っていない中で、入居者同士の支え合い、職員の日々の努力で、その人らしい生活ができる環境づくりに努めました。

入居者の通所の利用、生きがいデイサービスから通所、訪問の利用とつなげ、ご利用者の安心できるサービスを提供することができました。

くつろぎの家（通所）は開所2年目を迎え、小規模な空間を活かし、利用者お一人おひとりに寄り添うサービスを行っています。

【浜名湖花博2014に行ってきました。】

浜松十字の園 伊藤潔人

3月21日より6月15日まで、浜松フラワーパークと浜名湖ガーデンパークで「浜名湖花博2014」が開催されました。これは2004年に開催された浜名湖花博から今年で丸10年を迎えるにあたり、花と緑の故郷づくりをさらに広げる契機となるように開催される事となりました。

5月上旬、ご利用者2名と職員3名でめったに見る事のできない「花博」に行く計画を立て、出かけました。到着すると駐車場には大量の観光バスが停車していて、正面ゲートには大勢の観光客があふれていました。ゲートをくぐって最初のウェルカムガーデンで季節の花々に囲まれながら団体客が記念写真を撮っていたので、さっそく私たちも写真を撮りました。



花の種類もたくさんあり、楽器の街浜松に因みピアノを象ったモザイクカルチャー作品などが多数飾られていました。そして花をたくさん見た後は、お待ちかねの昼食です。香ばしい匂いに誘われ、お勧めのうなぎ弁当をご利用者も職員もペロりとたいらげました。花や自然を楽しむ外出はご利用者からの希望も多いです。これからも満足頂ける企画を計画していきたいと思えます。

【トレーニング型デイサービス ぷらすワンがオープンしました!】

第2アドナイ館 ぷらすワン 鈴木晶子



2014年2月17日より法人事務局の一階で、小規模型通所介護「ぷらすワン」の事業を開始しました。午前と午後、各3時間、定員は10名ずつ。入浴や食事はなく、マシントレーニングに個別メニューという内容で、2名の理学療法士を中心に「科学的根拠に基づく」評価と運動メニューによって、転びにくい身体づくりと、生き活きた生活への「ぷらすワン」を目指します。

送迎付きの高齢者向けフィットネスという雰囲気の中、iPadで好きな音楽を聴きながら、自転車漕ぎ運動をしたり、パズルゲームを解いたり、Wii Fitでバランスゲームをしたり…と、遊んでいるようであり、筋トレや脳トレに効果がある…まさに「次世代型デイ」の姿を実現しました。

また、3か月に一度個別にお知らせする「健康の通信簿」では、In Bodyでの測定結果や手足の筋力、歩く速度やバランス、血圧や脈拍などの数値を前回と比較してみることができたり、医療機関やリハビリの事業所に身体機能の情報共有に活用できるよう工夫しました。

さらに、自費利用、地域包括支援センターと連携した健康づくり教室、地域の方への健康ぷらすワン講座等々、「元気の発信地 ぷらすワン!」を展開していきます。お気軽にお立ち寄りください。



【法人事務局移転】

法人事務局 鈴木宏明

第2アドナイ館に隣接した2階建ての建物を増築し、1階にデイサービス「ぷらすワン」を開設、2階は法人事務局の事務所として2014年2月1日より移転しました。広々とした事務所の他に10名程が入れる会議室もあります。会議室には大型テレビが設置されており、浜松地区と東部地区（御殿場・伊東・松崎）の各施設とテレビ会議ができる環境が整っております。今後はテレビ会議システムを有効に活用し、会議や情報連携を進めていきたいと考えています。



テレビ会議室

新年度（2014年）の法人事務局職員を紹介します。理事長 平井 章、事務局長 鈴木 新、理事 青木克文（伊東市立養護平和の杜より異動）、給与担当 金原 忍（浜松十字の園より異動）、会計担当 鈴木宏明、会計担当 柳川 幸（浜松十字の園より異動）計6名で業務に取り組んでいます。



連絡先 ※FAX番号が変わりました。

〒433-8105 静岡県浜松市北区三方原町3014-1
社会福祉法人十字の園法人事務局（2階）
TEL：053-414-1400/FAX：053-420-2100
e-mail：jyuji_houjin001@jyuji.or.jp
ホームページ：http://www.jyuji.or.jp/

【細江デイサービスセンタースタッフの紹介です。】 アドナイ館 三木義史

職員紹介第3弾です。最後は、細江デイの縁の下の力持ちと、大御所の登場です。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 一番幸せを感じる瞬間は？ | 2. 生まれ変わるなら何になりたい？ |
| 3. 人生で一回はやってみたい事は？ | 4. 老後は何をしている？ |



上野 貢一
(デイ所長)

1. 美味しいコーヒーを飲む時
2. 画家
3. 南フランスに行き印象派の画家たちが感じた光を体で感じたい
4. 晴耕雨読+温泉三昧



土平 智恵子
(看護師)

1. ぐっすり眠って翌朝すっきりと自然に目覚めたとき
2. もう少し体力のある自分
3. クルーズトレイン「ななつ星in九州」の旅をしたい
4. アドナイ館にいる



白井 晴信
(理学療法士)

1. お肉を食べている時
2. 自分
3. 東南アジアに住む
4. 夫婦で雑貨屋さん



宮道 利恵
(介護職員)

1. ゆっくりお風呂に入っている時
2. ゴールデンレトリバー (犬)
3. 富士登山
4. 孫の面倒を見ていたいな？



北 重方
(運転手)

1. 好きな音楽 (Swing jazz) を聴いている時かな
2. 風がいいですね…
3. 乗馬。古典馬術…優雅に操ってみたい
4. ぶらぶら、だらだらするだけ



松井 茂雄
(運転手)

1. 仕事 (運転) をしている時
2. 太陽
3. 旅行 (日本一周)
4. 仕事

7月から新たに
作業療法士が入職します。

2014(平成26)年度 新規採用者

4月1日の辞令交付式で十字の園に新しい仲間が加わりました。



☆浜松十字の園：7名

(介護職員) 打桐由紀子・高山和子・土屋純子
中島美恵子・水野孝代

(理学療法士) 鈴木俊佑 (事務職員) 金谷一作

☆御殿場十字の園：13名

(介護職員) 青木美香・磯野英里佳・岡村春佳
小林颯太・杉山雄久・巽晴香
鶴田祐子・徳岡真紀・西田裕子
古田浩一・三浦桃花・山下八重子

(看護職員) 江並美帆

☆伊豆高原十字の園：2名

(介護職員) 稲葉哲哉・横山桐子

☆松崎十字の園：8名

(介護職員) 稲葉美和・長田雄吾・関まどか・肥后順司
(生活支援員) 小西淳・福本智博
(看護職員) 渋谷千春 (調理員) 小林貴重



☆平和の杜：1名

(看護職員) 三村千鶴

☆アドナイ館：1名

(理学療法士) 臼井晴信

☆第2アドナイ館：3名

(介護職員) 鈴木伸治・丸山隆司
(理学療法士) 後藤未来

計35名(辞令交付式には27名が出席しました)

温かいご支援をありがとうございます！



2013年度も多くのご支援とご寄付を賜りありがとうございました。より良い施設作りのための整備及び設備購入に充てさせていただきます。今後とも皆様の声に応える施設として活動する十字の園へのご支援を宜しく御願い致します。

松崎十字の園では静岡県共同募金会、公益信託小川忠孝老人福祉基金様より助成金を頂き、多機能加熱調理機器スチームコンベクションを購入しました。メニューのレパートリー

も広がり利用者様にも好評です。御協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝致します。



法 人 事 務 局	13 件	243,000 円
浜 松 十 字 の 園	75 件	2,957,105 円
御 殿 場 十 字 の 園	108 件	2,594,376 円
伊 豆 高 原 十 字 の 園	30 件	421,631 円
松 崎 十 字 の 園	13 件	400,500 円
ア ド ナ イ 館	115 件	1,594,788 円
御 殿 場 アドナイ館	1 件	14,320 円
オ リ ブ	2 件	32,000 円
伊東市立養護老人ホーム平和の杜	25 件	247,841 円
第 2 アドナイ館	29 件	245,000 円
合 計	411 件	8,750,561 円

復興支援募金継続中 ご協力を!!
皆様の温かい御支援をお待ちしております!!

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 7220-11
社会福祉法人 十字の園
理事長 平 井 章
銀行振替 静岡銀行細江支店 普通 0015345

あ と
が き

御殿場の施設は周囲を鬱蒼とした森に囲まれています。雨上がりの小径を行くと其処此処に葉脈の真ん中に花を咲かせ、あるいは実をつけた『花筏』を見る事が出来ます。この古風な名前の由来を想うなら、いにしへ人が花や実が乗った葉を、木曾や熊野の急流下りの筏に乗る船頭の姿に見立てて『花筏』と呼んだのが名前へと昇華したのでありましょう。木立の間から差し込む日に照らされ立ち上る霧と共に、移ろう季節を感じるこの頃です。

(やまもと)

(掲載されています写真については、ご本人またはご家族の承諾を頂いています。)